

宮城県大崎創成高等学校 [全日制課程 ((仮称) アグリ・フード・ビジネス科)]

★ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県大崎創成高等学校は、食をテーマとする専門教育や各教科間の連携・協働による、地域資源を利活用した地域ブランドの創出や魅力化などの特色ある取組をとおして、課題設定から解決まで主体的に取り組む力を身に付け、社会的・職業的自立に必要な能力を養うとともに、生徒の多様な個性の伸長を図り、地域の活性化に貢献する人材を育成します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 専門性を活かし、各分野でよりよい社会の創造に貢献する人材を育成します。
- 多様性を受容し、様々な人と協働して新たな価値を創造する人材を育成します。
- 自ら考え行動し、課題の解決に向けて意欲的に取り組む人材を育成します。
- 地域との連携・協働をとおして郷土に対する誇りを持ち、地域の発展に貢献できる人材を育成します。

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 個別最適な学びの推進
多様な生徒の進路実現に向けて、単位制による多彩な学校設定教科・科目により、少人数指導にも対応したカリキュラムを実践します。
- 協働的な学びの推進
「農業」「家庭」「商業」の教科等横断的な学びや、地域との連携により、6次産業化による地域ブランドの創出に向けた学びの実現を図ります。
また、「高校生カフェ」の企画・運営により、コミュニケーション能力の育成を図るとともに、産学官連携をとおした探究学習を実践します。
- 体験的な学びの推進
大崎地域をフィールドとして、世界農業遺産に関する学習や、学校間連携、世代間交流等により、生きた学びを実践します。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 入学後の目標が明確であり、学校生活に意欲的に取り組む生徒
- 専門的な知識や技術の習得に努めるなど、学習に意欲的に取り組む生徒
- 地域や他者と協働して、地域社会の発展に貢献することへの意欲がある生徒
- 高校生カフェ、ボランティア活動、探究活動に前向きに取り組む生徒

学校名	宮城県大崎創成高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	アグリ・フード・ビジネス科 ※予定	募集定員	160人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜		
	第2志望とすることができる学科・コース	なし		
	共通選抜			
	募集人数	96人（募集定員の 60 %）		
	学力検査:調査書	5 : 5		
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5 : 5とする。			
	特色選抜			
	募集人数	64人（募集定員の 40 %）		
	配点	1 調査書	97.5点	合計 547.5点
		国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を0.5倍にする。 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を1.0倍にする。		
2 学力検査		250点		
国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を0.5倍にする。				
3 面接	200点			
選抜方法	・ 審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する64人の150%に含まれる者（96人）を対象として行う。 ・ 学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し選抜する。			
面接・実技・作文のうち実施するもの	面接	1 形態：個人面接 2 時間：15分程度 3 内容：(1)自分自身について (2)志望動機 (3)高校での学習について (4)高校生カフェ等で取り組みたいこと (5)将来の進路希望 4 観点：(1)表現力等 (2)態度 ※2日目に実施		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書	112.5点	合計 412.5点
		国語、数学、英語 : 全学年の評定を0.5倍にする。 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を1.0倍にする。		
		2 学力検査	150点	
	国語、数学、英語 : 各教科50点満点			
3 面接		150点		
1 形態：個人面接 2 時間：15分程度 3 内容：第一次募集と同じ 4 観点：第一次募集と同じ				
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。			